

中学3年 理科 「宇宙と天体」 個人レポート

ねらい

宇宙の広がりについて興味・関心を持ち、自ら探究心を持って調べようとする姿勢を育成する。

学習展開（3時間）

- ① 宇宙全体の説明
(教科書の写真や動画を見て、宇宙の全体図を理解する)
- ② 図書館の本を活用した探究活動
(自分で課題を設定して、調べ学習をする)
- ③ 発表
(太陽系、銀河系、銀河に分けて代表者が発表し関連知識をクラス全体で確認していく)

指導のポイント

(1 時間目)

- ・宇宙の広さや規模について、天文単位や光年を使って説明できることを知る。
- ・太陽系は銀河系の中に位置し、宇宙には銀河が広がっていることを理解する。

(2 時間目)

- ・たくさんの本の中から宇宙について興味・関心を持ち、意欲的に調べることができるよう支援する。
- ・調べたことについて、具体的に発表できるようにスカイメニューを使って情報を整理させる。

(3 時間目)

- ・他の人が調べた課題について、理解を深める時間を確保する。
- ・発表を通して、宇宙の広がりについて理解が深まるように発表者を意図的に指名する。

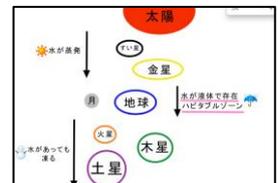


課題

地球はなぜ生命の惑星となったか？

まとめ

- ・生命が命を維持するための化学反応が起こす場になっている
- ・惑星の表面に液体の水が存在できる領域に位置しているから(ハビタブルゾーン)という



学校図書館との関わり

- ・授業における調べ活動の支援
調べる活動中、個別に支援を行った。
- ・宇宙について情報収集する場
市内の各学校や公共図書館から、図書館ネットワークを活用して資料を収集した。
- ・学習活動における興味・関心を深める場
活動の前に、司書が資料の紹介を行った。